

公益社団法人日本ハング・パラグライディング連盟

2018年6月通常総会議事録

日時：2018年6月18日（月） 11:00～14:30

場所：東京都北区 北とぴあ 第二研修室

出席者：（1頁参照）

1. 開会

司会の金井理事より開会が宣言された。

奈良県フライヤー連盟前理事長の故丸谷政則氏に黙祷を捧げた。

2. 会長挨拶

内田会長から、8月のアジア競技大会でパラグライディング競技に日本選手団が一般財団法人日本航空協会から派遣されることを報告した。また日頃の連盟活動への協力に対して感謝の意が表明され、本総会議事進行に対して協力をお願いした。

3. 感謝状贈呈

国体デモスポ行事を開催し、普及と振興に貢献をした愛媛県ハング・パラグライディング連盟に感謝状が贈られた。

愛媛県ハング・パラグライディング連盟 山野理事長：大変名誉ある感謝状をいただき、ありがとうございました。これも準備から後片付けまで全ての方にサポートしてもらい、全国から集まっていたいただいた選手の皆さまのおかげだと思っております。持ち帰り、今後も普及活動に貢献できたらと思います。ありがとうございました。

4. 本通常総会概要説明と正会員出欠確認

司会より、議事進行上の注意事項と、傍聴者の確認、会議運営の説明が行われた後、理事、監事および出席委員長の紹介と、本総会の出欠確認が行われた。

出席確認：

出席正会員 37名、委任状 5名、議決権行使 5名

合計出席者 47名

*大阪北部地震の影響により議決に間に合わない都道府県があったため議決数は異なります。

5. 定数の確認・議事録作成人の指名

総正会員の過半数の出席を得て、本総会は成立した。

議事録作成人の指名： 事務局長 桜井加代子

議事録署名人： 出席理事・監事

なお、定款により内田会長が議長となった。

5. 総会の目的事項

報告事項1 2017年度事業報告について

安田副会長が2017年度事業報告概要の説明を行い、質疑に入った。

神奈川県連：昨年総会で教員助教員更新講習会について、実技をやらなければいけないと決まったと思うのですが、報告にある20箇所は全て実技を行ったのでしょうか？

議長（内田会長）：すべて実技は予定しているはずですが、天候の状況で不可能だったかまでは確認していません。

報告事項2 2017年度決算報告・監査報告について

内田会長から2017年度決算報告の説明の後、質疑に入った。

静岡県連：会費収入が増えていますが会員数が増えていると考えてよいのでしょうか？

議長（内田会長）：会員数は実質減少しているのですが、3年会員は3年分を納めてもらっているため3年会員が増えたからだと推測されます。

岩村監事から全て適正であったことの監査報告があった。

決議事項1 貸借対照表および損益計算書（正味財産増減計算書）の承認について

議長（内田会長）：報告事項2の中で、貸借対照表および損益計算書（正味財産増減計算書）並びにその附属明細書および財産目録について承認をお願いします。

決議事項1について採決し

【賛成：42（賛成37、議決権行使5） 反対：0 棄権：0】
で承認された。

報告事項3 2018年度事業計画について

安田副会長から2018年度事業計画について説明を行い、質疑に入った。

大阪府連：振興委員会のことでお聞きします。2017年度にはVRのことが書かれていましたが、2018年度計画になく、事業方針には入っています。実際にスクールで飛べない日に修学旅行等団体の方々に雨でも強風でも出来るVRは商売的にも有難いのでぜひ進めていただきたいと思います。大学研究室との協力体制もあるのかと思いますが、振興に関してはよいことだと思いますので、どういう予算で現状どうなっているか教えてください。

ハングパラ振興委員会 井上委員長：VRを積極的に進めることはありませんでした。総会場で学生連盟から

東工大でやっている話があり研究室と連携してイベントをやろうとやって来ました。これは振興委員会の役割としてやって来たことではありません。振興委員会としては、今飛んでいる人に続けてもらえるような環境を考えて活動して来ました。イベントなどで一般の人に関心を持ってもらっているのも、ご家族の方にも理解してもらえる素材かと思ひ、飛んでいる人に対する理解をいただけるような仕掛けという認識でした。スクール等で具体的に使ってみようということであれば VR 等を事業としてやり始めた人達への繋ぎは出来ると思います。委員会としてこれから VR をどんどん進めるという考えはありません。

大阪府連：例えば大阪万博のアウトドアフェスタで VR をやってももらえないかという話があり、個人的にやっている方とお話したのですが、予算的に合わない、間に合わないという話で出来なかったのですが、来年もやりたいということ、鳥取空港も増設されるので VR をやっても欲しいという話があります。予算の問題、中身の問題があるのですが、事業方針にも入っているのでもぜひ積極的にやっても欲しいと思います。

議長(内田会長)：JHFとしてはVRの個別興業については、JHF 主導で進めようとは思っていません。2017年度はたくさん場所から体験会の要求がありました。体験会を請け負った東京都連の立場でもあるのですが、予想外に需要がありビジネスになってしまう段階でJHFは手を引きました。ビジネスであればやる人がやるという考えです。情報はもらっています。地方でもやりたいというサポート依頼であれば、今後は考えます。

大阪府連：事業方針の中に入っていたことなので。やってももらえるのであれば東京だけでなく需要はあるので利用はさせてもらいたいです。

議長(内田会長)：映像酔いで三半規管に影響することもあるそうで、VR のコンテンツを素人が作り見せるのは見様見真似では危険な可能性もあるのでJHFに連絡をするようにお願いします。

静岡県連：教本はいつ頃出ますか？

教員スクール事業委員会 北野委員長：難航していましたが、パラはほぼ出来上がり校正をしている段階です。ハングは執筆、写真も少しずつ進めて今年中を目標に進めています。

北海道連盟：理事会・事務局の業務に「スクールのための施設賠償・損害保険の告知と普及」とありますが具体的に説明をお願いします。

議長(内田会長)：昨年までの総会で、ハングライダーのスクールは保険に加入出来ないことについて言われていましたが、保険会社も営利事業なのでJHFが取り上げるのは間違いでした。JHF が重要なのはフライヤーの賠償責任保険で、スクール保険については保険会社が受ける、受けないというのは代弁しません。告知と普及については、パラライダーに関してはJHFの登録スクールについてはご紹介出来るようにしております。実は、JHF登録スクールに対する保険で、実績ベースの報告をしていないスクールがあるようだったので、引受拒否にならないように正確な実績報告をお願いします。

神奈川県連：教員・スクール事業委員会の中に教員助教員更新講習会の計画がありませんが、どこの委員会が担当するのですか？ 昨年の開催場所を確認したら会議室、公民館等もありました。実技は山で開催しなくてもよいのですか？

議長(内田会長)：現実に私も更新講習会に行きましたが、まずは部屋が必要ですが、必ず午後はフライトエリアに行ったり、グラウンドで立ち上げたりをしていますので、公民館だから実技をやっていないということではありません。

教員スクール事業委員会 北野委員長：事業計画の4は、教員助教員・レスキューパラシュートリパック認定証更新講習会とありますが、二種の講習会を一緒にまとめて記載しました。実技については、今後は委員会でも確認するようにします。

神奈川県連：山に行かなくても実技はグラウンドの立ち上げだけでもよいのか。それでよければエリア料払わなくてもよいのですから。統一していただければと思います。

小林副会長：教員検定員の集合検定の際には実技をするようにお願いしております。実技の中でやれるのであれば高高度フライトのピッチング、ローリング、グランドハンドリングもやっていくように周知しております。

大阪府連：教員スクール委員会の13で事故ゼロウィークの提案とありますが、今年からやるのであれば具体的に教えてください。

教員スクール事業委員会 北野委員長：安全性委員会でプレフライトチェックのセーフティータグを作っており準備中です。キャンペーンの内容は7月31日にパラライダーの日という設定に合わせて、準備しているタグの取り付けを徹底してもらい。これに関するチラシをスクール向けに配布します。告知はJHFレポートでの案内

やメール配信、JHFサイトで掲載していきます。よろしくお願いします。

神奈川県連:安全セミナーは、教員検定員が開催しないといけないという規約はあるのですか？

小林副会長:教員検定員の役務に安全セミナーの講師もあります。JHF安全セミナーで行うべき内容は教員検定員には知らせています。その内容でやっていただくのであればJHF安全セミナーになります。他に都道府県で独自に開催の安全セミナーがあると思いますが、それは都道府県連盟のカリキュラムで開催をお願いします。規程としては教員検定員の義務として入っています。

神奈川県連:JHF安全セミナーであればそれに対しての補助金なり、事故が起きた際の保険等の保障はどうなるのですか？

議長(内田会長):都道府県連盟で開催の講習会やセミナーは、参加費等を使い都道府県連盟で賄ってもらいます。派遣される教員検定員には講師料として2万円を支払ってもらうのが基準です。県連事業としてお願いしているのでJHFからは出していません。

神奈川県連:安全セミナーについての質問です。

議長(内田会長):教員検定員の仕事の中で講習会、セミナーは同じです。教員検定員の仕事については、主管は都道府県連盟にお願いしておりますが、JHFで主催者賠償責任保険に加入しています。

議長(内田会長):では、ほかにご質問等なければ次に進めます。

報告事項4 2018年度収支予算について

内田会長から収支予算について説明を行い、質疑に入った。

神奈川県連:安全性委員会が20万増えています理由は何ですか？

内田会長:先ほど説明したセーフティータグの予算です。

決議事項2 JHF総会傍聴規約改訂の承認について

内田会長からJHF総会傍聴規約改訂について説明があり決議した。

決議事項2について採決し

【賛成:43(賛成38、議決権行使5) 反対:0 棄権:0】

で承認された。

決議事項3 JHFおよび都道府県連盟プライバシーポリシー規約改訂の承認について

内田会長からJHFおよび都道府県連盟プライバシーポリシー規約改訂の承認について説明があり、質疑に入った。

神奈川県連:「ご連絡、ご提供、させていただく」とか規約でこういう文言は使わないと思います。

小林副会長:この規約は一般の方々に読んでいただくためのものなのでこういう言葉になります。一般的な企業でもこういう言葉を使っています。

制度委員会 中瀬委員長:補足ですが、49ページの最後の行の「別表」ですが、業者が変わる可能性があるので、別表の変更については理事会承認となります。

議長（内田会長）：プライバシーポリシーはJHFで公表するものだけでなく、各都道府県連盟の会員情報に対してもこれを守るということを含んでいますのでご理解をお願いします。

決議事項2について採決し

【賛成：43（賛成38、議決権行使5） 反対：0 棄権：0】
で承認された。

6. 報告及び連絡事項

日本学生フライヤー連盟 墨理事長：学生連盟の現状と問題にお時間をいただきます。JHF会員数の減少についてお話がありましたが、学生フライヤー連盟も減少の傾向にあります。3、4年目の学生は減少していないのですが2年生に顕著な減少の傾向があります。大会でも上位のクラスではなく初心者向けクラスで減少しています。一方で新入生は増加していますが、入部して最初の段階で辞めてしまう。大会やグライダーを買うためのお金の問題があるようです。大会参加の補助金は学連から援助しているので、楽しい魅力等を学生向けに発信していければと考えています。大会運用や運営方法で指摘を受けました。毎年、引き継ぎが至らない面が出ていると思います。大会にご協力いただいている教員の方々にもご協力をお願いしたいと思います。学生連盟の運営方法については、ホームページの運営や大会結果や成績が出て来ないこともあり、JHFの皆さまにもご協力、ご教示していただきたいと思っています。これからは学生が元気に飛んで行きたいと思っています。よろしく願いいたします。

日本学生フライヤー連盟 堀前理事長：昨年1年間ありがとうございました。私が1年携わった中で、保険や補助金についてテコ入れをして来ましたが、今年は大会関係にテコ入れを進めていけると思いますが、パラの尾神の大会なのですが、いつも担当していただいている教員の方がお亡くなりになり大会運営が危ぶまれました。ハングの大会は耳納で学生にも人気のある大会なのですが、引受状況がないと言われて見送る形になってしまいました。教員の皆さまが学生連盟にご協力いただけるよう課題としてお願いしたいと思います。中国地方では、教員がいないためにパラ学生OBが教えている状況で維持しています。フライヤーを増やしたいのは山々ですが、体制を学連だけでは解決出来ないこともありますので、問題提起とさせていただきます。

議長（内田会長）：JHFから協力をして欲しいということと、普段の教員の協力ということもありましたが、学生連盟の運営に対してJHF委員会からサポートの提案もあります。大会については競技委員会でしょうか？

HG競技委員会 牟田園委員：サポート出来ることとして思いつくのは集計に関してはノウハウがあるので困ったことは声を掛けてもらえれば協力出来ることがあります。

PG競技委員会 岡委員長：パラも同じと思いますが、集計が大変ですか？

学生連盟 墨理事長：集計も大変なのですが、事前準備や段取り不足についてチェックやアドバイスをいただくと大会のクオリティーは上がると思います。

PG競技委員会 岡委員長：全ての大会に派遣することは難しいので、足尾でやれば教員がいるので、尾神でやる場合は、文字さんとかは？ただ来てもらうのであればボランティアで来て欲しいですよ？そうであれば競技委員会でどうしていくかということにもなると思います。JHFで予算をつけてもらえれば。

毎年同じところでやっているのですが、ルーティンで決まっていますが、学生の場合は人が変わるので、それを後輩に残すシステムが出来ていないのがまずいですよね。

学生連盟 墨理事長：毎年引き継ぎの書類を作っているのですがそれでは網羅出来ない部分があります。大会を分からない人が実行委員長になる場合もあります。

HG競技委員会 牟田園委員：JHFの大会にスタッフ等で来てもらって、どんなことをしているか

見てもらえれば気づくこともあると思うので声を掛けてください。

議長（内田会長）：学生連盟のアドバイザーを委員会等で決めてもよいかという話もありましたので、後ほどまたお話ししましょう。

ハングパラ振興委員会 井上委員長：アドバイザー的な人がいるとよいのではないかと考えているのはハングパラ振興委員会です。学生は入れ替わりがあるので、JHFで継続的に協力していければと考えています。他の委員会への橋渡しも出来ると思います。

茨城県連：アドバイザーの話ですが、何年か前までは学生連盟の会計、監査を私が頼まれていましたが、今は誰がやっていますか？

学生連盟 墨理事長：会計監査をしている話も受け継がれていませんでした。

茨城県連：6年以上前にはずっとやっていたので、ぜひ続けてください。

学生連盟 墨理事長：では今月中に出したいと思います。よろしくお願いします。

制度委員会 中瀬委員長：これから制度委員会で規程を直すのですが、学生連盟宛の補助の部分も直したいと思いますので、その際にご相談させていただきます。

神奈川県連：神奈川県連の理事も傍聴で今日来ていますが、学生連盟に協力出来ると思いますが。

議長（内田会長）：学生連盟にも支部があって活動しています。東京都連が関東学連と提携してやっています。全国の中で偏っていることもあります。それぞれの都道府県連盟に戻られた時に、それぞれの学生連盟に手を差し伸べていただくことはぜひお願いします。

大阪府連：大会の話が出ましたが、参加者は減っている訳ではないのですか？

学生連盟 墨理事長：エキスパートは減らずに人数は保っているのですが、初心者クラスは減少しています。母数が減少していることもあるのと、競技志向の学生が減っている気がします。

大阪府連：PG競技委員会では参加者が増えて参加出来ない状態のようですので、PG競技委員会にアドバイスをもらおうとよいと思います。

PG競技委員会 岡委員長：あちらの団体からJHF大会に参加したい方が増えてその分は増えましたが、他に特にはっきりした理由はありません。スコアリングもきちんとして結果もすぐ出て、安全性も確保されたのが定着して、海外の大会に出る選手も増えたことも影響があると思います。

大阪府連：女子が特にながらんでいますよね。

PG競技委員会 岡委員長：それなりのレベルがいるので、アジア競技大会でも金メダルだと思っています。

最後に福井県フライヤー連盟理事長より、2018福井国体でのパラグライダー競技にご協力のお願いがあった。

7. 閉会

司会より出席者に謝意が表明され、閉会が宣言された。

この議事録が事実と相違ないことを確認し、記名捺印する。

平成30年6月18日

議長・理事 内田孝也 印

理事 芦川雄一郎 印

理事 市川 孝 印

理事 _____ 大沢 豊 印

理事 _____ 金井 誠 印

理事 _____ 小林秀彰 印

理事 _____ 殿塚裕紀 印

理事 _____ 増田憲治 印

理事 _____ 安田英二郎 印

監事 _____ 岩村浩秀 印

議事録作成人： 桜井 加代子